

千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第4号

発行日: 2009年(平成21年)10月1日
発行: 富山県立大学同窓会 会長 荒木 甫 / 副会長 高田 満
編集: 千瓢編集部 [編集長 池上 勤]
住所: 〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電話: 0766-56-7500 FAX: 0766-56-0396
メール: senpyokai@pu-toyama.ac.jp
URL: <http://senpyokai.pu-toyama.ac.jp/dsk/homepage1.html>

巻頭言

「成人式」を迎える富山県立大学の人材育成

富山県立大学学長 田中 正人

1990年に開学して最初の新入生を迎えた富山県立大学は、今年4月に20回目の新入生を迎え、来年には開学20周年の記念事業を実施しようと準備を進めています。この間に多くの教職員が積み上げた努力と実績により、本学の存在感は県内のみならず広く浸透しつつあります。本稿では、大学の主要な使命である人材育成(教育)、研究、社会貢献のうちから、最も優先順位の高い人材育成(教育)について、まもなく「成人式」を迎える本学の最近の様子をご紹介します。

1. 2006年の変革

開学時に設置されたのは「機械システム工学科」、
「電子情報工学科」の2学科(一学年の定員はそれぞれ
80名)でしたが、発足して15年が経過した2006年春か
らは4学科体制で新たに再出発いたしました。

このうちの3学科は、「機械システム工学科」、「知能
デザイン工学科」、「情報システム工学科」の3つです。

これは日本機械学会の「力の
メカから知のメカへ」という標
語に象徴されるように、とにか
く大馬力で頑丈であればよい
「愚直な」機械システムでは
なく、「知的(インテリジェン
ト)な」機械システムが次第に
求められるようになってきたと
いう世のニーズの変化と符合し
ます。知的な機械システムはスマ
ートマシンとも言われ、周辺環
境と自身の状態の変化を素早く
検知して、要求される機能と性
能を正確かつ効率よく果たせる
よう、自身を柔軟に制御できる
機械システムです。最近の自動
車用エンジンはその一例であり、
無数のセンサー、コンピュータ、
制御装置が連動して本体を動か
しています。



このような「賢い」機械システムは、ハードおよび
ソフトの「先端技術の融合」によってこそ実現できる
ものであり、関係する領域の教育と研究に適任の教員
を既存の2学科から抽出して新たに編制されたのが
「知能デザイン工学科」です。スマートマシンの教育と

目

- 1 巻頭言 「成人式」を迎える富山県立大学の人材育成 富山県立大学学長 田中 正人
- 4 宮崎平三先生を偲んで 農業機械科5期生 前田 喜芳
- 5 私の好きなもの 佐藤 幸生 / 富川 善朗 / 見浦 成子
- 6 探しています(住所不明会員の一覧)
- 8 研究室の近況案内 生物有機化学講座 / エコマテリアル工学講座 / 情報メディア工学講座 / 資源環境工学・環境政策学講座 / 電子ナノデバイス工学講座

次

- 10 「緑成会」の歩み
- 11 平成20年同窓会総会報告 総会実行委員長 横堀 邦一
- 12 大学ニュース
- 13 同窓会日誌No.8 2008年9月1日～2009年8月5日
- 19 富山県立大学検定クイズ
- 19 はてなクイズ
- 20 平成21年同窓会総会のお知らせ
- 20 声
- 20 編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大学技術短期大学の応用数学科の1期生です。

研究は従来の枠組みの中でも遂行できたはずですが、敢えて既存の2学科の枠組みを取り壊して新学科を構築したのは、新学科に結集する教員のチームワークを容易にして、新学科のビジョン、目標、教育研究プログラムを早急に創り上げ、それにより新分野を担当する学科のアイデンティティを明確にする狙いがあったものと想像されます。

「知能デザイン工学科」が既存の2学科から新たに生み出された結果、新しい「機械システム工学科」、「情報システム工学科」も、それぞれ「環境調和型ものづくりの推進」、「人間支援情報システムの構築」を新たな学科目的に設定して、再出発することになりました。

同時に、1992年設置の生物工学研究センターにおいて活発な研究を展開してきた教員を中核にして、「グリーンバイオテクノロジーの世界水準の教育研究拠点形成」を目標とする「生物工学科」が新設されました。「グリーン」とは、人間の体内での反応や微生物が引き起こす反応のように、環境に与える負荷が小さいことを意味し、今後期待される新しいバイオテクノロジーです。

これら4学科の一学年の学生定数は、それぞれ40名（生物工学科）もしくは50名（他の3学科）であり、教員1名あたりの学生数は平均で10名と小さく、全学年において丁寧な少人数教育を実施できる体制となっています。この再編制以来4年目に入った今春は、3月に旧2学科の最後の学年の学生が卒業するとともに、新4学科の1年生から4年生までの全学年が初めて揃うこととなる区切りの年となりました。

最初の卒業生が出た1994年の3月から今年の3月までの学部卒業生数の累計は2461名、この6割以上が就職し、残る4割ほどが大学院に進んでいます。

学部の4学科にそれぞれ対応する、大学院の博士前期課程（いわゆる修士課程）の4専攻が1994年に、また、後期課程（いわゆる博士課程）が1996年に設置され、この春までに前期課程では787名が修士の学位を

得て修了しています。

本学は、大学院修士生も含めて1994年春以来今日まで毎年ほぼ100%という驚異的な就職達成率を誇っており、本学の教育内容と手法が全国的に広く注目される所以です。しかし、昨年来の大きな経済変動のため、来春の就職達成率は前年同期と対比してまだ若干低くなっていますが、それでも全国平均をはるかに超えており、最終的には例年並みの数値を達成するものと思われれます。

2. 環境工学科の新設

本年4月には、工学部の5番目の学科となる「環境工学科」が、一学年の学生定員40名の規模で開設され、新一年生を無事迎えることができました。同学科が目指すのは、「循環型社会に向けた環境分野の知の拠点形成」です。

アメリカを震源地として世界中に波及した今回の経済危機は、各国政府が協調して取り組んだ金融支援、景気刺激策が功を奏したか、底を打ったようにも見えます。とはいえ、世界全体を見れば工業製品の売れ行きが急速に回復しているとはいえ、なお暫くは低迷状態が続くと考えられますが、地球上に68億を超える人間が生活を続けている限り、世界経済は遅かれ早かれ活性を取り戻すはずで、しかし回復基調に転じたとき、今までとは異なる新しいモードに転換した経済、社会システムが出現し、新産業革命の始まりとなる可能性があります。

そのキーワードの1つは、20世紀後半より議論され続けてきた「環境・エネルギー問題の根本的解決」であると思われます。古くは1972年に、ローマクラブが「成長の限界」というタイトルの報告書を刊行し、人間の経済活動によって環境破壊がこのまま続けば資源の枯渇や環境の悪化という破局的事態を招くと警告しました。以来、これに対して様々なデータの取得、検証

<p>登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建設コンサルタント建20-788号 ●測量業第13-624号 ●補償コンサルタント補20-101号 ●一級建築士事務所第3-1232号 ●労働者派遣業 特(16) 300217号 <p>営業品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建設コンサルタント ●地上、空中写真測量 ●地図データ作成 ●補償コンサルタント ●3Dレーザー測量 ●システム開発、販売 <p> 株式会社 上智</p> <p>代表取締役社長 楠 則夫</p> <p>本社 砺波市千代 176-1 TEL(0763)33-2085 FAX(0763)33-2558 支店 富山・県東部・南砺・高岡・射水・小矢部・石川・新潟・上越・中四国 香川・近畿・あわじ・山口・三重・和歌山・大阪・京都・中部・岐阜・東北 出張所 淡路・丸亀・観音寺</p>	<p>理化学器機・産業器機 計測・試験機器</p> <p>山本理化 山本文雄</p> <p>〒930-0887 富山市五福二区5369 TEL: (076)432-1658 FAX: (076)432-1659 E-mail: yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp</p>
<p> 株式会社 中部設計</p> <p>代表取締役 中瀬 壽</p> <p>本社 〒930-0029 富山市本町10番2号 TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704</p>	<p> 水門・橋梁・河川水消雪・ポンプ設備 ミニ発電設備・バイオ関連事業・設計・製作・施工</p> <p>水機工業株式会社</p> <p>代表取締役 野村 幸三</p> <p>〒939-8214 富山市黒崎172 TEL (076)491-2533 FAX (076)423-3368</p>

が世界的な規模で行われ、2007年のIPCC（気候変動に関する政府間パネル）報告書において、大気平均温度の上昇（地球温暖化）に大きな寄与をする大気中CO₂濃度の最近の増加は人間の活動によると考えて間違いない、と記述されるまでに至りました。世界各地で発生する最近の自然災害の様子をみると、台風や集中豪雨は以前に比較してはるかに破壊的強度を増しており、ローマクラブの警告が現実のものとなりつつあると実感されます。

アメリカのオバマ大統領がグリーンニューディール政策を打ち出したように、今後の産業経済は環境・エネルギー問題に配慮しないと発展できない瀬戸際に来ており、「21世紀のものづくり」は大きな課題に直面しているといえます。

新設の環境工学科は、水循環、資源循環、環境政策、環境デザインの4つの領域に注力し、20世紀の技術文明が地球環境に与えた負の影響を軽減するにとどまらず、今後必要とされる新技術の開発とその技術を支える先端的な研究の推進、そして何よりもこの新産業革命に対して積極的に寄与する中核的人材を育成して、明るい将来展望を切り拓くバイオニアになります。

また、様々な技術システムの機能、性能、形状を設計するにあたり、使う側の人間に無理な負担を強いるのではなく、人間の様々な特性に合わせた人間中心の設計、ものづくりが今後ますます強く求められるようになります。

本学は、このような「21世紀のものづくり」の課題を担い、その解決に向けてチャレンジし、リードする人材を輩出する高等教育機関として、将来も引き続き期待される存在、必要とされる存在であり続けたいと考えます。

3. 大学全入時代の大学教育

文部科学省による平成21年度学校基本調査の速報では、全国の国公私立大学の総数は773の多数にのぼり、前年の確定数765からさらに8増えています。

これら大学の入学定員数の合計は、2007年に大学進学希望数とほぼ等しくなり、大学を選ばなければ、理論的には希望者はどこかの大学に必ず入れる「大学全入時代」が到来したことになります。1992年に200万人を少し超えるピークを示した18歳人口はそれ以降減少を続け、今春は120万人となり、将来はさらに減少します。

このような少子化の流れの中で、各大学は入学定員を満たすだけの入学生を確保するのに大変な努力をしています。一方、入学した学生の平均的な学力は、当然のことながら以前よりも低下していることは否めません。そのため、一部の学生については基礎学力を底上げするための補習授業の実施を余儀なくされています。

さらに、勉学に興味を持てなくなった、意欲がわなくなった、というような理由で中途退学するケース

が本学でも毎年見られ、おそらくいづこの大学も同様の悩みに直面しているものと思われます。

学生が勉学への興味、意欲を失う原因の一つは、偏差値に基づく進路指導にあるかもしれません。「君の偏差値では第一志望のA大学の農学部は難しいが、B大学の工学部ならほぼ確実でしょう」というような、本人の志向、適性、意欲と無関係に進路指導が行われ、生徒が合格第一でそれに従ってしまうと、確かに工学部に合格したものの勉強に興味を持たないという結果になってしまうことは十分あり得ることです。大学に合格することが第一であるから、入学した先で興味を持たなくても我慢して勉強するのが当然、というような暴論が進路指導の世界で罷り通っているとは思いますが、一方、高校の先生にとっては、とにかく浪人生を出さないことが最優先とされているかもしれないと思います。大学に籍を置く者として、入学生と大学の双方にとって不幸なこのミスマッチは、できるだけ未然に防止したいところです。

4. 工学部と理学部

このミスマッチが発生するもう一つの要因として、生徒ならびに進路指導の先生が工学部についての正確な認識を持っていない、あるいは正確な情報の提供を受けていないということが挙げられるのではないのでしょうか。大学の理工系に分類される学部には、情報学部、環境学部など比較的新顔のものもありますが、伝統的なところでは工学部の他、理学、農学、薬学、医学などの学部があります。このうち農、薬、医については他との違いや中身が一般にも比較的良好に知られていますが、工学部と理学部については理工学部という学部もあるくらいなので、どちらの学部へ行っても学ぶ内容にそれほど変わりはない、あるいは、理学は基礎で工学はその応用、などと誤解されていることが多いようです。

中学、高校では工学部ご出身の先生は皆無に近いと考えても間違いではないでしょう。また、大学の工学部で必要となる数学や物理の基礎を教える高校の先生も、大体は教育学部か理学部ご出身で、工学部で学んだ方がほとんどおられないはずで、このようなことから、工学部というのは何を、どのように学ぶところなのかについて、生徒に伝達できる的確な情報をお持ちの先生はおられないのでは、と考えます。

このような状況を正すためには、大学側が良質の理解しやすい情報を積極的に提供する必要がありますが、従来は必ずしもそういう努力を十分、的確にしてきたとはいえません。たとえば、多種多様な講義科目の名称を並べ、教員の研究の内容を微に入り細を穿って説明すれば、工学部をよく判ってもらえると考えるのは見当はずれもいいところで、大学も広報の基本技術を会得しなくてはなりません。

理学部での勉強は、自然界に存在する現象や物質などを対象としており、未知の事柄を解明して既知のもの

のとすることを目指すものであって、最終的には人類の知の財産に新たなページを加えることが主目的となります。たとえば、宇宙の彼方から届く電波を用いての天体観測、猿の群れの社会構造の解明、大気や海流の挙動の解明などが挙げられます。

これに対して工学部の勉強が理学部と最も異なるのは、人間の活動、人間社会を直接対象としていることにあり、また、それまでは不可能であると思われてきたことを可能にするのを目的としているという点にあります。たとえば、飛行機の実用化によって人間は空を飛べるようになり、以前は船で何ヶ月もかかっていた地球の反対側へ、わずか1日のうちに到達できるようになりました。また宇宙船や人工衛星の実用化によって、宇宙からの地球資源探査、確度の高い天気予報が可能となり、さらにはGPSが実用化されて地図を見なくても自動車、船、飛行機が所定の目的地へ迷うことなく到達できるようになりました。その他、誰でもが自由に瞬時に、そして安価に情報を交換できるインターネット通信の実用化などを含め、それ以前には存在しなかったものを創り上げることにより、不可能を可能に変えたのは、工学という学問、その応用としての工業技術、そしてそれを担ったエンジニアです。このような説明をすれば、人間と社会に大きな影響を直接与える工学と、自然を対象とする理学の違いが明快に判り、結果として有効な進路指導を行なうことができるのではないかと考えます。

5. 終わりに

富山県立大学は日々変化しています。本稿では紹介できなかった側面も含めて、同窓生の皆さんには時に本学を訪れ、新しい息吹を感じていただければ幸いです。

田中 正人(たなか まさと)

富山県立大学学長

1971年 東京大学大学院博士課程終了 工学博士

1971年 東京大学 講師

1972年 東京大学 助教授

1974年 日本機械学会論文賞 受賞

1984年 東京大学 教授

1996年 日本機械学会機素潤滑設計部門功労賞 受賞

1997年 日本機械学会論文賞 受賞

2004年 (独) 大学評価・学位授与機構 教授

2007年 富山県立大学 学長(現職)



宮崎平三先生を偲んで

農業機械科5期生 前田 喜芳

先生との出会いはもちろん短大に進学したからだが、濃密な師弟関係が始まるのは入学直後からだった。先生は陸上競技部の顧問だ。わたしは中学から親しんでいた中距離をやろうと入部した。それが先生との出会いだった。入学そうそう信じられない事実遭遇する。短大には未だグランドがなかったのだ。ショックだった。中距離ランナーにはトラックでのスピード練習が欠かせない。また先生は「前田君、実験や実習で忙しくなるが短時間でもいいから練習は続けなさいよ」。陸上競技者の先輩からのアドバイスだ。日ごろはもの静かな口調の先生だが競技理論はしっかりしていた。練習内容は先生や先輩に相談してインターバルトレーニング用には校舎の周りを400mトラックに想定し、また走りこみは「女池」までのロード用とすることにした。また全国学生選手権に備え、先生に相談して小杉のお寺を借りて強化合宿も張った。創部以来、初めてらしい。先生を頼りに先輩、部員に囲まれて充実した2年間のクラブ活動だった。



平成15年11月16日同窓会総会でゴルフコンペに優勝した宮崎先生(左)に賞品を手渡す荒木同窓会会長(右)

わたしが卒業して赴任したところが「農業開発技術者協会小原事業地」、廃村だった。ここでも先生の世話になる。小区画の農地を大きくすることになった。先生が測量機材持参で助っ人に来てくださったのだ。「平板の取り付けはこうすると速く正確だよ」。学生時に先生から測量学を学んだものの、現場での作業はあまり自信がなかっただけに実習のようになってしまった。

卒業してからも恩師と交流があるのは短大の特徴なのだとよく聞くが、わたしもその一人であろうか。平成19年6月、農業機械科5期生の還暦同窓会を行った。先生も一泊してくださり、自慢の謡曲を披露され、深夜まではしゃいだ。これが先生との最後になった。

先生、公私にわたりありがとうございました。さようなら。合掌。

宮崎平三先生。2008年8月30日に死去、70歳。元富山県立技術短期大学助教授、富山県立大学短期大学部農業技術学科農業土木専攻助教授。



私の好きなもの



佐藤 幸生 (さとう ゆきお)

工学部 教養教育 主任教授

①食べ物

年をとったせいでしょうか、若い頃は何でも口にしていたものですが、このところ美味しい食べ物に引き寄せられることが多くなったように思います。食べ物の中で、何と言っても好きなものはお魚、とりわけお刺身と焼き魚には目がありません。食後に「猫よりも上手」と家族に言われ、富山県に住んだこと一番の幸せを感じるものの一つです。

②自然(うどんこ病菌)

うどんこ病菌との付き合いも40年近くになりました。学生時代に卒業論文の課題であった「うどんこ病」に対して「うどんこ病では飯は食べぬ」と言われましたが、そんなことはないとうまく言えるのかなとの思いです。また、うどんこ病をもじって「人生、運、鈍、根」とも教わった上司の先生も亡くなりましたが、人生のいろんな事を教えて支えてくれた「うどんこ病菌」です。自然が豊かで、かつ作物以外の野草や樹木の病害調査がほとんどなされていない富山県にいたから出来た仕事かもしれません。(80種類の植物上の新発生うどんこ病を報告したその半数近くは富山県産です。) まだまだ植物病理学を学んでいる病人です。

③人間(卒業生と友人)

多少でも人様の役に立っている点があるとしたら、それは卒業生と諸先生や友人のおかげだと思っています。土壤肥科学実験室の一台の実験台で米山君とはじめて卒業論文を始めてから105名を担当しましたが、彼ら彼女らの働きで「うどんこ病菌」の研究者として知られるようになりました。また、研究室以外の卒業生でも、小生を叱ってくださる卒業生の存在は、大変有り難いことでした。いろんな事で叱られましたが、とくに「自分が見えていない」事があるときは、「はっ」としたものです。

《近況報告》

本学の前身、富山県立技術短期大学草農業科に赴任して、はや33年になります。短大時代の30年間を植物病理学を担当し、1200名ほどの卒業生たちと出会った計算になります。工学部教養教育に移って生物学を担当し今年ようやく4年生です。ヘビースモーカーの面影もなくなり、お酒もほどほどで充分になり、太りすぎた体型も多少は収まってきました。定年までの年数を数えながら、若い方々の足手まといにはならないようにと、気持ちだけは若くと、老骨にむち打っています。卒業生の皆さんのご活躍をお祈りします。

富川 善朗 (とみかわ よしろう)

工学部 電子情報工学科2004年卒業、大学院工学研究科博士前期課程2006年修了

①サッカー観戦

②スポーツ

③温泉

現在「サッカー観戦」は私にとって最も大きな趣味と言えます。私はJリーグ2部(J2)所属のカターレ富山のサポーターをしています。ホームゲームはもちろん、時間を見つけてアウェイゲームの応援にも行っています。頑張っている選手達を一生懸命応援することで、勝利したときの喜び・感動は何重にもなります。その感動がたまらないですね。

サッカーは観るだけではなくプレーすることも好きです。社会人になってすぐに自分でフットサルチームを立ち上げました。もう3年以上続いており、週1回の練習はとてよい運動になっています。また週に1~2回スポーツジムに通ったり、冬になるとスノーボードをしたりと、「スポーツ」は日常生活に欠かせません。

サッカー観戦後やスポーツ後、仕事後はなどよく「温泉」に行きます。疲れた後に入る温泉はほんとに気持ちがいいものです。気に入った泉質の温泉や露天風呂の景色が良い温泉は、リピートしています。

《近況報告》

大学院卒業後、県内企業である立山科学工業(株)に就職しました。現在、E D S社という分社で無線機器の開発・製造に携わっています。悪戦苦闘の毎日ですが、希望していた仕事なので充実した社会人生活を送れています。

見浦 成子 (みうら なりこ)

短大部 環境システム工学科 2007年卒業

①ドライブ

自分の車を持つようになって、休日にはふらふらと出かけることが増えました。別段目的地があるわけでもなく、あてもなく風景を楽しんで走っています。好きな音楽を聴きながらのんびりできる時間です。今は北陸など近場がほとんどなので、ETCをつけて少し遠くまで行けたらなと思っています。

②いい道、いい景色

道を走っていると、ふとこの道はいい道だなと思う瞬間があります。山間部や農村部の自然が豊かで景色もよく、広い道は走っていてとても気持ちがよく好きです。どこまでもまっすぐ伸びているような道もいいですね。完全に職業病ですね…。

③カフェオレ

小さい頃から家で作るカフェオレが大好きで…毎朝飲んでいます。これがないと1日が始まりません。牛乳が切れるとたとえ夜中でも買いに走ります。家の冷蔵庫の中に牛乳は切れることはまずありませんね(笑)

《近況報告》

卒業後、2年間は建設会社にて現場で汗を流し、この春から公務員として農業土木の部署で働いています。本学で学んだことが多少なりとも生かされています。さすがやはり奥が深く、日々勉強です。学生の時よりも頭を使っている気がしてなりません…。でも少しずつ知識が増えていくのは楽しいですね。経験を積んで、効率よく短時間で仕事ができるようになりたいです。

座り仕事が主で、最近運動不足なので休みの日は体を動かしたいなと思っている今日この頃です。

情報メディア工学講座

教授 太田 聡

本研究室は、2006年に出来た小さな研究室です。現在、教授1名が学部生2名、博士前期課程の院生2名、博士後期課程の院生1名を指導しています。研究室では、情報ネットワークに関する基礎的な研究を行っています。応用面ばかりに注目が集まりがちな情報ネットワーク技術ですが、本当に面白いのは、情報ネットワークに関するもっと根源的な問題を解決することではないかと思っています。

例えば、インターネットの仕組みは長年に渡って改良がなされてきて、大変上手く出来ていますが、それでも問題がいくつもあることも分かっています。これらの問題を解決し、より良い仕組みを確立しようと、世界中の研究者が熱心に研究しています。私たちもその一員として、もっと性能が良く、



研究室メンバー（太田先生は後列中央）

もっと安心してインターネットを使えるようにするための技術を研究しています。それには、ネットワークの中で起きる性能劣化を正確に、簡易な方法で知る性能測定技術や、その結果得られた情報に基づいて通信データの送り先や機器の電源投入・切断を制御する制御技術の研究が含まれています。また、近年、情報ネットワーク研究者の関心は、インターネットとはまったく要求条件の異なるセンサーネットワーク等の分野に向かっていきます。このような比較的新しい分野の基盤技術の研究にも着手しています。

研究室では、パソコンを使って小規模なネットワークを作って実験により研究を進めることが多く、このような方法で目には見えない情報ネットワークの動作を、学生が実感をもって理解できるようにしています。学生は、一人当たり大体4、5台のパソコンを使い、ソフトウェア、ハードウェア、通信プロトコルに親しみながら研究しています。

比較的歴史が浅く、卒業生の少ない本研究室ですが、どうやら軌道に乗りつつあると感じています。なんだか堅い話ばかりになって恐縮ですが、今後も本研究室をよろしく願います。

資源循環工学・環境政策学講座

教授 川上 智規

私たちの研究室は、酸性雨の研究をしています。特に、酸性雨が陸水（川や湖の水）に及ぼす影響を酸の供給と中和能力のバランスという観点から調査を行っています。



川底の泥をくみ上げて砂金を採取するマシン。カハヤン川やルンガン川では数百基が稼働していると見られる。日本では酸性雨による広域的な陸水の酸性化被害は、まだ生じていないとされていますが、私たちの研究で乗鞍岳や、屋久島など土壌の発達が悪く中和能力が乏しい地域においては酸性化がすでに進行していることが明らかになってきました。また、富山市呉羽山の渓流水は世界でもまれなほどの高濃度の硝酸イオンを含み酸性化しています。これは窒素飽和現象

とよばれ、降雨によって大量の窒素化合物が供給されると、森林が窒素過多の状態になり、本来は肥料である窒素化合物が、森林に吸収されずに硝酸イオンとなって渓流水に流出する現象で、近年、新しいタイプの酸性雨問題として注目されています。この窒素飽和現象のメカニズムについても研究を重ねています。

また、近年、環境への水銀拡散の問題がクローズアップされ、国連環境計画（UNEP）は2005年に、各国政府機関ならびにNGO等関連組織に対して、環境への水銀放出量と健康リスクの削減を求めました。この動向を受け私たちの研究室では酸性雨研究の一環として、大気中や降雨中の水銀も測定しています。2007年からはインドネシアの中央カリマントンにおいて、砂金採取に伴う水銀の大気拡散に関する調査を、現地のパラカラヤ大学と共同で実施しています。地域によっては、日本の1000倍の濃度に相当する、3000ng/m³ というような高濃度のガス状水銀が大気中から検出されます。健康被害を防ぐ対策のために現地自治体に情報を提供しています。

電子ナノデバイス工学講座

教授 安達 正利

富山県立大学が1990年に創設され、既に19年が経過した。本講座は、発足時、工学部電子情報工学科機能材料工学講座として産声を上げた。初代教授は、川端 昭教授で、1997年～2001年まで本学学長も務めた。2006年4月の学科改組により知能デザイン工学科へ所属が変わり、講座も「機能材料工学講座」から「電子ナノデバイス講座」の1研究室となった。

学生は、学部生8名、大学院生（修士6名、博士1名）、嘱託研究員1名、研究生1名の総勢20名である。「新素材のもの作り」の研究を通じて、学生の興味心、研究意欲、豊かな発想、粘り強さ、根気を持つ研究者・技術者を育てたい。

研究内容は、強誘電体・圧電体等の固体中で起こる電子、光、音波の相互作用による物理的現象や効果の基礎研究、その相互作用を積極的に利用した新しい電子デバイスへの応用研究や開発、それらを支える単結晶、セラミックス、薄膜、厚膜、ナノ粒子、複合材料の作製方法の研究を行う。機能性電子材料は、組成や構造が多様多様になっており、その特性には無限の可能性がある。分子レベルのナノ結晶から理想なバルク単結晶まで、新しい材料の創製や電子デバイスの実用化を目指している。

「緑成会」の歩み

緑成会といっても御存じない方もいるかもしれませんが、富山県立技術短期大学農林土木科と富山県立大学短期大学部農業技術学科農業土木専攻の同窓会の名称です。

その緑成会が都合で解散することになり、記念に「緑成会」という小冊子を発行した。(平成21年3月30日発行)

記念誌は66ページの力作で、先生からの言葉や、同窓生の思い出や「緑成会」へのコメントや緑成会の会員名簿、各回の入学写真、資料として就職先別卒業生数一覧表等充実した内容になっている。

卒業生は富山県立技術短期大学(旧富山県立大谷技術短期大学)農林土木科として、昭和47年から平成3年まで20回で579人、富山県立大学農業技術学科農業土木専攻として、平成4年から平成16年まで13回で

381人、富山県立大学短期大学部地域環境学専攻科農業土木系(学士)として、平成12年から平成18年まで7回で29人、合計989人です。

この記念誌には989人の青春の思い出が詰まっている。

緑成会



<学校側正面より>

富山県立技術短期大学農林土木科
富山県立大学短期大学部農業技術学科農業土木専攻
同窓会

記念誌「緑成会」(平成21年3月30日発行)

二枚の写真

設立総会と解散時の総会の写真です。



↑同窓会設立総会(昭和56年11月22日)



↑緑成会総会(平成21年3月7日)

平成20年同窓会総会報告

総会実行委員長 横堀 邦一

富山県立大学同窓会については、皆さんにご案内のとおり県内六ブロックが一巡し、昨年度より2学科が主体（工学部は全体）に行い今年度は、農業機械科、草農業科が主です。5月に実行委員会を立ち上げ、先ず開催日時・場所の決定及び記念講演会講師の選択です。場所については、大学で行うこととすぐに決定したのですが、日時については講師の関係から、2週（日曜日）に亘って数人の候補をお願いしたのですが、残念なことに日時の折り合いがつかず記念講演会を取りやめたことに対し、会員の皆様には深くお詫びいたします。その後何を企画すればよいかいろいろ検討した結果、大学祭と同時開催することで、OBの皆様にも大学祭を楽しんでいただき、学生時代の懐かしい思い出や小杉駅から大学周辺などの移り変わりのスライド上映・学年毎のクラス



懇親会

会などを主として開催することとしました。当日の懇親会では、軽音楽部OBの皆さんによる演奏から始まり、スライド上映の際は思い出深く若返った気分になり一段と盛り上がりました。後半には現役学生も懇親会に出席し、久しぶりの恩師や先輩・後輩・現役学生・同級生など相互の親睦を深め楽しいひと時を過ごすことができました。

私はこれまで何回か同窓会に出席しましたが、出席するごとに新しい出会いがあり何人かの友達ができ、仕事の面などで多いに役立つことができました。出席することでプラスになってもマイナスになることはあ

りませんので今度は是非出席してみてください。

終りに、同窓会開催にあたり大学・先生・事務局並びに実行委員の皆様方のご協力に感謝を申し上げ20年同窓会の経過報告とさせていただきます。ありがとうございました。

平成20年度同窓会総会

平成20年度の富山県立大学同窓会総会が平成20年10月25日(土)開かれました。総会は学内の教室で3時から、懇親会は体育館2階アリーナで4時から行われました。当日は大学祭期間中ということもあり例年の記念講演会を開かなかったのですが、総会の前に茶道部のお茶会に参加された方や総会前後に大学祭を見てこられた方などもおられ、久しぶりの大学祭を満喫されたのではないのでしょうか。また、懇親会の後半には在校生（同窓会準会員）も参加して若い方々のエネルギーにあふれ、盛会のうちに会を終えました。



18人

答えは富山県立大学の名誉教授の人数です。2009年6月18日に片山勤先生が名誉教授の称号が授与されました。これで18人目です。その他の名誉教授は中山一雄・田原晴男・藤井澄二・笈田知義・前田敬四郎・満保正喜・山田秀明・横井信安・宮代裕・川端昭・山本倫久・葉山真治・森田幹郎・石井成行・植松哲太郎・中島恭一・田中潔（敬称略）です。

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役会長 東原 寛
代表取締役社長 瀬川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697



総合建設コンサルタント

株式会社 協和

代表取締役社長 藪内 克義

本社 富山県高岡市北島1406

TEL 0766-22-2100/FAX 0766-22-7602

富山支店/氷見支店/射水支店/南砺支店/新川支店/関西出張所



みんなの
よい食
プロジェクト

富山県JAグループ

建設コンサルタント・補償コンサルタント
調査・測量・計画・換地・補償・監理

朝日コンサルタンツ株式会社

代表取締役 森 永 晃
(農林土木科 第1回卒)

本社 〒935-0023 氷見市朝日丘 4-29

TEL(0766)74-0774(代) FAX(0766)74-0894

大学ニュース

*本年度の役職教員の方々です。

- | | | |
|---------------|-------|-----|
| ○工学部長 | 川越 誠 | 教 授 |
| ○短期大学部長 | 安田 郁子 | 教 授 |
| ○学生部長 | 野村 俊 | 教 授 |
| ○副学生部長 | 松本三千人 | 教 授 |
| ○工学部 | | |
| 教養教育主任教授 | 佐藤 幸生 | 教 授 |
| 機械システム工学科主任教授 | 石塚 勝 | 教 授 |
| 知能デザイン工学科主任教授 | 安達 正利 | 教 授 |
| 情報システム工学科主任教授 | 松田 敏弘 | 教 授 |
| 生物工学科主任教授 | 中島 範行 | 教 授 |
| 環境工学科主任教授 | 川上 智規 | 教 授 |
| ○短期大学部 | | |
| 環境システム工学科主任教授 | 川上 智規 | 教 授 |

*以下の方々が昇任されました。

- | | | |
|-----------|-------|-----|
| ○工学部 | | |
| 機械システム工学科 | 堀川 教世 | 准教授 |
| | 真田 和昭 | 准教授 |
| 情報システム工学科 | 松田 弘成 | 教 授 |
| | 中田 崇行 | 講 師 |
| 生物工学科 | 五十嵐康弘 | 教 授 |
| | 加藤 康夫 | 教 授 |

*以下の方々が新規採用されました。

- | | | |
|-----------|--------------------------|-----|
| ○工学部 | | |
| 教養教育 | 須田 孝司 | 准教授 |
| | (H20.10短大部採用、H21.4工学部転任) | |
| 機械システム工学科 | 畠山 友行 | 助 教 |
| 知能デザイン工学科 | 松本 公久 | 講 師 |
| | 本吉 達郎 | 助 教 |
| | (H20.10採用) | |
| 情報システム工学科 | 唐山 英明 | 准教授 |
| | 岩本 健嗣 | 講 師 |
| 環境工学科 | 九里 徳泰 | 教 授 |
| | 伊藤 始 | 准教授 |
| | 手計 太一 | 講 師 |
| | 佐伯 孝 | 講 師 |

*平成21年3月31日をもって退職されました。長い間お疲れ様でした。

- | | | |
|-----------|-----------------|------------------|
| ○片山 勁 先生 | 平成2年4月～平成21年3月 | 工学部 教授 |
| ○下坪 訓次 先生 | 平成14年9月～平成21年3月 | 短期大学部 教授 |
| ○広瀬 慎一 先生 | 昭和60年4月～ | 富山県立大谷技術短期大学 助教授 |

平成2年4月～平成21年3月 短期大学部 教授
平成14年4月～平成18年3月 短期大学部長

- | | | |
|----------|------------------|-----------------|
| ○荒井 涼 先生 | 昭和45年5月～ | 富山県立大谷技術短期大学 助手 |
| | 昭和50年1月～ | 富山県立技術短期大学 講師 |
| | 昭和55年4月～平成4年3月 | 富山県立技術短期大学 助教授 |
| | 平成2年4月～平成19年3月 | 短期大学部 助教授 |
| | 平成19年4月～平成21年3月 | 短期大学部 准教授 |
| | (学校教育法改正による職名変更) | |

*平成21年3月31日をもって他大学等へ移られました。長い間ありがとうございました。

- | | | |
|-----------|------------------|---------------|
| ○瀧本 裕士 先生 | 平成6年10月～平成9年9月 | 短期大学部 助手 |
| | 平成9年10月～平成16年3月 | 短期大学部 講師 |
| | 平成16年4月～平成19年3月 | 短期大学部 助教授 |
| | 平成19年4月～平成21年3月 | 短期大学部 准教授 |
| | (学校教育法改正による職名変更) | |
| | 平成21年4月～ | 石川県立大学准教授 |
| ○天野 智順 先生 | 昭和59年4月～平成元年9月 | 富山県立技術短期大学 助手 |
| | 平成元年10月～平成4年3月 | 富山県立技術短期大学 講師 |
| | 平成2年4月～平成21年3月 | 短期大学部 講師 |
| | 平成21年4月～ | 富山県環境科学センター |

*2009年6月18日に片山勁先生(元工学部教授)が名誉教授の称号を授与されました。

本学では18人目の名誉教授です。

○なお、他の先生方のお名前は以下の17名です。

中山一雄・田原晴男・藤井澄二・笈田知義・前田敬四郎・満保正喜・山田秀明・横井信安・宮代裕・川端昭・山本倫久・葉山眞治・森田幹郎・石井成行・植松哲太郎・中島恭一・田中潔(敬称略)



(広告掲載企業一覧)

朝日コンサルタンツ、岡本清右衛門商店、北建コンサル、協和、建成コンサルタンツ、上智、新日本コンサルタンツ、水機工業、中部設計、富山県農業協同組合中央会、日水コン、山本理化

同窓会日誌

No. 8

この日誌は富山県立大学同窓会の山口郁子事務局長の日誌です。同窓会のホームページに掲載したものです。

2008年9月1日～2009年8月5日

【2008年】

9月1日(月)

もう9月ですね…。今月20日頃には「千瓢」第3号の印刷が終了して送業者に渡さなければならぬのにまだ仕上がりが見えてきません。大丈夫でしょうか？何となく気持ちだけあせっています。

9月8日(月)

封筒の印刷が終了しました。今日から発送に向けての準備作業開始です。黙々と宛名シールをはり、封入すべき書類を入れています。このひと時が一年で一番忙しく緊張する時かな…。

9月10日(水)

茶道部の部長とOBが事務局を訪ねてくれました。今年の総会が大学祭の茶会開催日と同じです。茶会にも寄ってもらい同窓会にもと考えています。県内在住のOBに向けて案内葉書を送付する予定です。

9月12日(金)

何とか「千瓢」第3号の編集が終わり印刷業者にデータを渡すことができました。19日午後4時頃には印刷が仕上がってくる予定です。

9月16日(火)

封筒に宛名シールをはり正会員向けには昨年の収支報告書と年会費振込み用紙、特別会員向けには同窓会

総会の案内文を入れる作業が今日午前中に終了しました。あとは「千瓢」第3号の印刷が終わるのを待つばかりです。

9月19日(金)

無事「千瓢」第3号の印刷も終わり、発送業者に夕方には手渡すことができました。月末は発送業者も忙しく予定通り10月1日に会員の手に届くには今日中に渡さなくてはならないとのことでした。よかったよかった。

9月26日(金)

我が家にもう「千瓢」第3号が届きました。思ったより早く届いて良かったです。

9月30日(火)

総会実行委員会を午後7時から同窓会事務局で開きました。往復はがきを送って参加を促したクラスもあったのですが、なかなか総会・懇親会の出席数がのびてきません。あと一ヶ月がんばってね。

10月1日(水)

県庁へ「千瓢」第3号を届けに行ってきました。毎年行っていますが、行きなれないところなので迷ってしまいます。

10月7日(火)

大失敗です。年会費の自動振込みをしている会員の所へも振込用紙を同封してしまいました。先週にはお詫びの葉書を送ったのですが、すでに振り込んだ方もおられて二重取りになるので今日口座のほうへ返金してきました。

10月10日(金)

総会の出席状況が芳しくなく、もう一押しかな…。

10月14日(火)

午後1時から懇親会担当のJAのかたに来てもらい最終打ち合わせです。会場がとても広く出席者数のことを考えると仕切ってもらうことにはなるのですが、雰囲気がかめず、どんなものでしょうかねえ????



総合建設コンサルタント
北建コンサル株式会社

測量・調査・設計・補償

代表取締役社長 鷲 北 慎 一

本 社：〒933-0941
高岡市内免3丁目3-6

TEL：(0766)23-3666(代) FAX：(0766)23-3987
支店／富山・射水・南砺・東部・金沢 営業所／上越



樹全国上下水道コンサルタント協会会員

株式会社 日水コン

代表取締役社長 清水 慧 名古屋支所長 篠原弘則

〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1
TEL 03(5323)6200 FAX 03(5323)6480

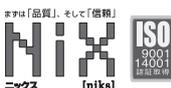
http://www.nissuicon.co.jp
おかげさまで50周年
ISO9001 ISO14001

〒456-0002 名古屋支所熱田区金山町1-7-5
TEL 052(681)3311 FAX 052(681)3282



株式会社 新日本コンサルタント

代表取締役社長 市森 友明



http://www.shinnihon-cst.co.jp
本社：〒930-0142 富山県富山市吉作910番地の1
TEL：076-436-2111 FAX：076-436-2260
金沢支店 富山支店 新川支店 射水支店 高岡支店 南砺支店 津幡支店 登坂支店 大坂



芝生と肥料と農薬

(株)岡本清右衛門商店

TEL 0766-24-0230
FAX 0766-24-1197

10月17日(金)

午後7時から理事会でした。会長を含め10名の方々の出席がありました。総会資料のチェック当日の役割分担などを決めたのですが、私を含め当日欠席の理事もおられ平身低頭お願いばかりしていました。

10月21日(火)

会計監査をしてもらいました。

10月24日(金)

学内での総会で会場がわかりにくいので学内に案内を掲示してきました。学内で仕事をしているものにとっては大丈夫なところもあらゆる可能性を考えつつ矢印を貼ってきました。小雨も降っていましたが、何とか無事完了。

10月25日(土)

少し天気も悪かったのですが、同窓会総会が開かれました。今回は大学祭中の大学内で行いました。大学祭で学生が使用する場所は使えないので体育館2階のアリーナを仕切って行いました。学内ということもあり先生方在校生の参加もあり盛況のうちに終わりました。

10月28日(火)

預けてあった懇親会費などを受け取りました。私の試算より多くの方が懇親会費の他に年会費も払ってくださり領収書が足りなくなると聞き、嬉しい限りです。

11月5日(水)

遅ればせながら総会欠席の理事の方々に総会資料を送らせていただきました。

11月6日(木)

池上編集長とHP作成について打ち合わせをしました。載せたい項目・内容について検討し、事務局のHPに詳しい方に教えてもらい徐々に進めていく予定です。

11月7日(金)

総会・懇親会の看板・飲食代の請求書がやっと届き、今日振り込んで来ました。ホテルとかと違い、会場設営費もかかり割高感は否めません。

11月11日(火)

HP作成中です。といってもなかなか思うようにはなりません。特に印刷物となっているものをデータとして見るようにするのに特別なソフトが必要だったりと大変です。あまりお金をかけずにスムーズに行く方法を模索中です。

11月13日(木)

昨日作ったHP用のページを修正中です。いろいろやってみているのですが、なかなか奥が深くやればやるほどこんがらかってきています。トホホ。

11月17日(月)

今朝事務局へ入るとほんのり暖かい。ついに暖房が入りました。ボイラーのおじさんが点検に来ていましたが、調子はいいみたいです。先週までは寒さしのぎに石油ストーブや電気ストーブを使っていたのですが、やっと全館暖房のようです。でもこれが曲者で事務局

は古い建物なので暖房の温度調節が効かず、あまりの暑さに窓を開けることもしばしば。暖かいのはよいのですがこれからはそこが悩みです。

11月19日(水)

すっごい寒い日です。曇混じりの雨が降り、北陸の冬到来って感じです。そんな中、今週金曜日には工学部推薦入試のため事務局の方々は外に看板の掲示をしています。大変ですね。私は暖かい部屋の中で黙々とパソコン作業です。ちょっと申し訳ないような気もしますが。

11月20日(木)

今朝起きてビックリ!!!一面の銀世界です。初雪は昨日だったのですが、まさか積もるなんて。

今日もHPの作成にパソコンとにらめっこ。文章の打ち込みは何とかなるのですが、ページのデザインとなるとどうも???簡単ソフトを使ってはいるのですが、なかなか素敵な感じにはなりません。センスないなあ。この日誌のページも何度もレイアウトを変えています…。

11月25日(月)

連休明けで郵便や迷惑メールが沢山あり、げっそりです。事務局の方に今まで作っておいたHP原稿を見てもらいアップしました。だいぶ出来上がってきてますよ。早く皆さんに見てもらいたいなあ…。「千瓢」第3号のクイズに応募して下さった方々に図書カードを送りました。前回よりも沢山の応募があり嬉しいです。

11月27日(木)

池上編集長の手元にある総会の写真などのデータを取りに富山まで行き、ついでにHPの進捗状況を確認してもらいました。同窓会HPからのリンク先についての検討もしました。私が把握しているHPを持っている会員のアドレスをリストアップ中です。

12月1日(月)

ついに師走です。何となく気ぜわしく思うのは私だけでしょうか。今日はとてもよいお天気。この時期のよいお天気はとても貴重で家のことをしたくなるのは主婦の性ですね。そんなことを思いながら黙々とパソコンに向かっていきます。

12月4日(木)

今年の総会の様子をデジカメで撮影したものをCD-Rにおとしてもらったのですが、それを利用してHPの総会のページを作成中です。まず沢山の写真の中からどの写真を選ぶか。雰囲気が出ていてふさわしいもの。これがなかなか難しい。どうしようかなあ…。

12月8日(月)

先週選んだ写真をパワーポイントを作って編集しています。初めて使うソフトなので勝手が違い四苦八苦。すごく初歩的なこともわからず、事務局の方にいろいろ聞いています。とても親切に教えてくださるので助かっています。

12月12日(金)

総会実行委員反省会(慰労会)を行いました。なか

なか皆さん忙しく実行委員全員とはいきませんでした
が、和気藹々と総会当日の苦労話や今後の課題を話し
おおいに盛り上がりました。来年はどうしましょう。

12月16日(火)

朝から平成20年度総会のPDFファイル作成に奮闘
中です。昨日も作っていたのですが、コンパクトにま
とめたほうがとのアドバイスをもらい16ページあった
ものを3ページに作り直しました。ずっとパソコンを
眺めているのですごく目が疲れます。

12月19日(金)

H P作成で四苦八苦している間に溜まった年会費の
入金チェックをしています。毎日数名ずつですが、年
会費の振込みがあります。大学同窓会への意識がある
ということですね。ありがたいことです。

12月22日(月)

朝から土砂ぶりの雨。
技術短大一回生の浦野紅
雨(泰子)さんからとて
も大きな書の額を寄贈し
ていただきその搬入の日
なのに困った困った。で
も何とか無事短大部棟二
階の短期大学部長室に収
まりホッとしています。
大学に来られることが
あったら是非見て行っ
てくださいね。



浦野さんの作品を短期大学部長室
に納めたところ。左が浦野さん右
が山口事務局長(書は鳥啼雲山静
落花溪水香)

12月25日(木)

今日で仕事納めとします。また、来年もよろしくお
願いします。

【2009年】

1月6日(火)

今日から仕事始めです。朝一番の仕事は、沢山来て
いた迷惑メールの削除からです。長期休暇明けのいつ
もの仕事ですが、うんざりします。特に同窓会という
性質上、送信元が個人名の際は削除したらどうか迷い
ます。タイトルも確認して削除するのですが、間違っ
て消すこともあるのでは??返信が来ない時はもう
一度送り直してもらわないとダメかも…。

1月13日(火)

会長と相談の上日程を調整し理事会の案内を送付し
ました。メールで案内できる理事の方が増えてきて助
かっています。当日配布する資料も作成しなくては。
なかなか正月ボケがぬけなくて仕事はかどらなくて
困っています。

1月15日(木)

午後から緑成会(土木の卒業生)の会長が来学。土
木の学科がなくなることもあり、記念誌の作成準備中
との事。懐かしいクラス写真を探しています。県立大
学になってからは図書館にアルバムもありだいたいあ
りますが、技術短大時代のものがアルバムのある年度
とない年度がありなかなか見つからなくて困ってい
ます。

1月16日(金)

明日から大学センター試験です。学内はその準備で
大変そうです。同窓会事務局のある建物の方は使わな
いのでよいのですが、工学部棟は受験会場ですから午
後からは出入りも禁止です。雪が降ったり凍っていた
りしなければよいのですが。

1月19日(月)

無事センター試験も終わり、学生も事務局もホッと
一息ですかね!!!来月25日には一般入試です。今年
から短大部がなくなり工学部5学科の入試となります。
大学もずいぶん様変わりしてきましたね。

1月21日(水)

昨年末から滞っていたH Pに関する作業を開始。い
ろいろと戸惑うこともありまたレクチャーを受けに
行ってきました。とりあえず明日には事務局の部屋へ
来てもらい教えてもらう予定です。メモもとってある
のですが、時間がたつと忘れることが多く思い出すの
に一苦労です。

1月21日(水)

昨日もだったのですが、今日も朝からトイレ工事の
ためすごい音です。トイレが新しくなるのはうれしい
のですがこの騒音と埃にはまいりました。ストレス溜
まりそう…。

おかげさまでだいぶホームページが整ってきました。
昨日習ったことを今朝から復習し、ノートにしっかり
清書しました。これで大丈夫かな???

1月26日(月)

週末からの雪ですごく寒い。大寒ですね。

J Aに開いている口座の名義変更にはやっと思行こと
ができました。あまり使ってはいないのですが、会員
の中にはJ Aにお勤めの方も多くH PにJ Aへの振込
が利用できること明記するには以前の千瓢会の名称では
やはり都合が悪いと思いましたので。手続き後H Pの
お知らせのページを修正しアップしました。

1月28日(水)

やっと思H Pの体裁が整ってきたので大学のH Pから
のリンクをはっていただきました。3年前からH Pが
止まっていて皆様にはずいぶご迷惑をおかけしまし
た。同窓会の合併を機に千瓢会としてではなく新しく
同窓会のH Pを立ち上げようとはしていたのですがな
かなかうまくいかず今までかかってしまいました。

2月3日(火)

会長・理事12名の出席で理事会が行われました。昨
年の総会報告に引き続き今年の総会の在りようを議論
しました。昨年は総会を大学祭期間中・学内で行った
のですがなかなか好評だったので今年もその方向でと
考えています。今のところ予定は10月24日(土)です。

2月5日(木)

先日の理事会欠席の方に理事会報告を送りました。

2月9日(月)

短大部長室で会議が行われ、昨年末に展示させてい
ただいた浦野さんの書を先生方にもお披露目すること
ができました。安田短期大学部長がわざわざ私の所ま

で来てくださり皆さんがすばらしいと言っておられたとのうれしい報告もありました。

2月10日(火)

今日明日は大学内大谷講堂で就職ガイダンス企業説明会が行われるので、多くの企業の方や学生が集まっています。リクルートスーツ姿の学生はいつもと違って凛々しく大人っぽく見えますよ。就職難の今、本学の状況は如何なものでしょうか？

2月12日(木)

以前アップした同窓会成り立ち(年表)を修正しました。少しは見やすくなったように思うのですがどうでしょうか？

2月16日(月)

昨日までの春のような陽気が一変し、今日は冬に逆戻り。雪がちらほら降っています。

大学事務局から同窓生に著名な方がいるかとの問い合わせがありました。全国的にメジャーな方はどうかな？？以前富山県人名事典で確認した方のお名前をお知らせしました。(書家、笙曲家、茶道家など)

2月19日(木)

なかなか今年の総会実行委員長が決まりません。どうしましょう…。

2月26日(木)

昨日は雨の中、大学一般入試でした。今年からは短大部の募集もなくなり工学部(四年制)だけとなりますが、競争倍率は3.1倍。ニュースなどを見ていると不景気で親の負担も考えて国公立をと思っている学生が多いみたいです。

3月3日(火)

雪もチラホラ。寒い雛祭りです。先月からのトイレの工事・花粉症のせいか咽喉が痛くて咳・鼻水が出るようになりました。工事中マスクをしていた方がよかったのかなあと今頃反省しています。

3月4日(水)

午後緑成会(農林土木同窓会)の松原さんが来学。記念誌発行のため写真を借りに来られました。今週末には退職の先生方の送別会と総会を開くとのこと。最後の総会で100名の方が出席すると聞きました。盛会になることをお祈りいたします。

本部棟の事務局へ向かうのに環境工学科の立田先生の研究室の前を通ったらペットボトルのキャップがたくさん集めてありました。すごく気になりました。環境リサイクル・廃棄物が専門の先生ですから、何か意味があるのでしょうかが事務局の方へ来られることがあったら聞いてみよう…!!!

3月6日(金)

立田先生にペットボトルのキャップのこと聞きました。4月から開始予定ですが、学生にも呼びかけるそうです。キャップ800個で20円になりそれを基に発展途上国への援助をする(ワクチンなど)のが目的のエコ&ボランティア活動です。早速我が家でも廃ポリとして捨てていたのをやめ集めだしました。

3月10日(火)

7日(土)に行われた緑成会の総会・先生方の送別会は無事終わり盛会だったと報告をいただきました。今月中には記念誌も緑成会会員の手元に届く予定です。仕上がりを楽しみます。

3月16日(月)

新規採用の先生の荷物が届きました。入られる予定の部屋の準備がまだらしく別室に保管するとのこと。大変ですね…。そろそろ新年度に向かって動いているなあと実感できる出来事でした。

3月17日(火)

暖かい日差しが差し込み事務局の部屋はぽかぽか陽気で眠くなります。このようなお天気で卒業式が迎えられたらよいのになあ…。

3月23日(月)

週末のぽかぽか陽気が一転してすごく寒いですが、でも大谷講堂前の桜の蕾も膨らみチラホラ咲いています。私のパソコン机からちょうど良い具合に見えるので楽しみです。

先月から行われていたトイレの改修工事も終わり今日から使用できるようになりました。トイレが遠くて大変だったのでよかったわ!

緑成会の記念誌発送用あて名シールの印刷を済ませ、印刷業者に手渡しました。

3月25日(水)

今日は学位記授与式。曇り空で肌寒いのですが、10時からラポールで式典、各自の授与は大学へ戻ってクラスごとに。12時過ぎから大谷講堂で謝恩会。女子学生は晴れ着を着ているので移動も大変ですよ。雨・雪の予報も出ていたので少し心配です。

4月1日(水)

今日から新年度。工学部も5学科になり新しい先生方・事務局職員の方々も来られ、大学も少しリニューアルされました。先月卒業していった学生達も今日から社会人となる人もいるのでしょうか。新しい出会いを楽しみにわくわく・ドキドキ?しているのでは…。でも若干自宅待機の人もいるとか。期待に胸を膨らませてのスタートなのにねえ!!!

4月6日(月)

暖かい春の今日、入学式が行われました。卒業式と同じで、小杉文化ホールラポールで行われました。午後からは本学でオリエンテーションも行われ、新入生でいっぱいでした。毎年思うことですが、早く大学・富山県になれ充実した学生生活が行われるとよいですよ。ねえ。

4月10日(金)

オリエンテーション・健康診断も終わり、授業が始まりました。教室と離れた場所に事務局はあるので学生たちの賑やかな声はあまり聞こえませんが、時々書類の申請のことで聞きに来る学生を見て新年度を感じます。

4月13日(月)

先週の初夏の陽気とはうってかわり、何となく今日

は肌寒く感じます。

やっと新会員のデータ入力が終わりました。ここ最近卒業名簿に住所を掲載しない学生も多く四苦八苦しています。3月末日現在の正会員数は8,947名うち810名は短大部・工学部を卒業後本学の専攻科・大学院へ進学しています。

4月16日(木)

大学事務局をお願いしてなんとか未記入の部分の入力もほぼ終わり会員データが整いました。今年の卒業生のうち70名あまりの方々为名簿への記載を拒んでいました。個人情報とのことでいろいろと障害が出てくるのが否めませんが、仕事がやりにくいのは事実です。トホホ。

4月20日(月)

中国人留学生が数名いるのですが、なかなか漢字が難しくパソコンでは出てこないものもあり読めないものもあり困っています。また、人名は読み方が難しく特に県外出身者はわからないことも多く悩みの種です。振り仮名がふってある名簿を借りた方がいいかなあ…。

4月21日(火)

池上編集長の所で第4号の打ち合わせをしました。例年通りの企画のものは早々をお願いをして、新しい企画のものは後日編集会議で決めていく予定です。HPの話もしていたのですが、大学からのリンクがおかしくなっていて旧の千瓢会HPへのリンクとなっていたので直してもらおうようお願いしました。

4月24日(金)

第4号の企画「研究室紹介」をお願いに先生方の所へ行きました。締切は6月末日としているのですが、連休もあり先生方もお忙しいので早めにしています。どの先生方も快く引き受けてくださり助かります。仕上がりが楽しみです。

4月27日(月)

大型連休がスタート。学生は授業があるのでまだ休みじゃないのかな！今年不況で企業は2週間休みというところもあるみたい。今年入社卒業生たちも仕事に慣れた頃の休みで少しはリフレッシュできるかも。

4月28日(火)

HPのトップページに少し変化をつけようと思っています。事務局の方をお願いしたら何んとかなりそうです。あとはそのための写真を探さなくては…。

5月1日(金)

連休の谷間だから授業がなくて学生も少ないのかと思っていましたが、しっかり授業はあるようです。後半は明日から5連休となるから今日はしっかりお勉強!!!私もしっかり仕事をしなくては。

5月7日(木)

長い休みも終わり久しぶりに仕事をしています。「千瓢」の広告依頼をする企業リストから宛名ラベルの作成をしていたのですが一年ぶりの作業ですっかり要領を忘れていて四苦八苦しました。なんとかできましたが、ちょっと違うような…。もっとスムーズにできる方法があったように思うのですが、思い出せない。

困った困った!!!

5月11日(月)

最近大学内で今回窓会事務局のある建物が環境工学棟と呼ばれるようになったことがわかりました。以前は短期大学部棟だったのですよ。短期大学部二年生はいますが、今春から工学部環境工学科となり短大部の募集がなくなりました。だから呼び方も変わったのですよね。

5月14日(木)

11日(月)に機関誌の広告依頼をしました。早速1社からOKの返事。ありがたいですね!!!郵便だけで直接お願いにもいかず、恒例だからというふうに送っているのに卒業生がいるということはそれだけで、いつも協力してくださる企業の方々誠にありがとうございます。

5月18日(月)

昨日の雨がうそのように晴天。初夏の陽気です。私事ですが、昨日は地域のお祭りで獅子舞も出るのです。お手伝いもして今日クタクタ。晴れていればもっと楽しくできたのに。昨日と今日の天気が逆ならばよかったのになあ。

5月21日(木)

郵便物は本部棟への配達なのですが、なかなか見に行かなくてたまっていました。普段はあまり頻繁に郵便がこないで安心しています。でも、広告依頼をしているのもう少し頻繁に見に行かなくては…。

5月26日(火)

富山大学工学部の同窓会誌が届きました。歴史もある大学ですが、国内各地域での活動も活発で支部が充実しています。県立大も開学して20年近くたち、そろそろ支部活動にも力を入れる時期に来ているのかな…(今までもなかったわけではないのですが)。短大の頃は県内の方がほとんどでしたが、今は県外出身者が多くなってきています。状況調査をしようかな。

5月27日(水)

日本地図を使って各県ごとの同窓生の人数を記入してみました。佐賀県と沖縄県は0でしたが、どの県にも卒業生がいることにびっくり!!!こちらで把握している住所がご実家の場合もあるので正確とは言えないかもしれませんが、やはり富山県在住の方がトップです。ついで石川県、愛知県、岐阜県と続きます。

6月2日(火)

今日は真夏日。気温は30℃になる予報でした。同窓会事務局のある環境工学棟1階はとて涼しく、部屋にいる時は長袖の上着が必要です。いまはやりのECOで建物の側に植えてある木々が木陰を作っているからですね。大学がたった当時はあまりエアコンも普及されていなくてこんなことが大事だったのでしょう。今は老木で手入れが大変みたいですけど。

6月4日(木)

出来上がったばかりの富山県立大学ニュースを見ていて、疑問がわく。新規採用の先生の所に私が調べた先生の名前が出ていないのだ。おかしい。そのことを

大学事務局に聞きにいったらその2名の先生は昨年の秋(後期)から採用とのこと。前回の県大ニュースには載っていたらしく気づかなかったこちらのミス。あわてて前回の号を確認してみました。ありましたありました。大学の採用は前期と後期と二回あることも初めて知りました。

6月8日(月)

先日原稿依頼していた同窓生からのメールが週末に届いていた。先生の後押しもあり快諾のメールで嬉しかったのですが、依頼文が住所が違って届いておらず今日もう一度発送し直しました。そのことをたまたま部屋に来られた先生にもすぐ報告できました。あとは原稿が届くのを待つばかりです。

6月10日(水)

お願いしていた研究室紹介の原稿が届きました。写真も添付されたいのですが、その中に先生方も写っているのですが、お名前と顔が一致しないので新年度版の研究者総覧で確認をしました。証明写真と普段の顔とは少し違うようにも思うので先生方に直接確認した方がよいでしょうか。

6月15日(月)

池上編集長に大学へ来てもらって「千瓢」第4号の打ち合わせをしました。学生を紹介してもらいたくて事務局へ伺ったのですが担当の方がお休みで、できませんでした。こちらの意向をよくお話してからと思っているのでまた出直しです。次回は予定を確認してから伺わなければ…。

6月19日(金)

先週末に同窓生が亡くなったという連絡を先生からいただきました。工学部卒業生でまだまだお若い方だったのでびっくりしました。これからという方が亡くなるのはとても辛いです。

6月24日(水)

原稿依頼をしている方々へ締切日の確認メールをしました。お願いした時期が早かったので、ゆったりかまえてお忘れではないかと心配しています。予定ではまだまだ余裕があるのですが、少しでもできているとこちらの準備も順調に進むものですから皆様には無理を言っています。

6月29日(月)

朝一に広告を依頼していた企業から広告料の振込に関する電話をいただきました。ありがたいですね…。だいたい「千瓢」が皆さんに浸透してきたように感じます。紙面の充実にもっと心配りをしていきたいです。

7月1日(水)

梅雨ですね。朝からずっと雨が降っています。うっとおしい天気ですが、昨日までの蒸し暑さがなく涼しくて快適です。

昨日締切でお願いしていた原稿が皆さんしっかり締め切りを守ってくださったおかげさまでそろい、今年の「千瓢」のでだしは順調です。

7月6日(月)

短大部専攻科の試験があります。今年で募集は終わりだと思うので最後の受験生ですね。そのためか受験生は少ないように思います。

夜は「千瓢」の編集会議です。編集長がレジメを作ってきてくださるのであまりこちらで準備することもなく助かっています。

7月7日(火)

昨晚の編集会議はかなり盛り上がり遅くまでかかってしまいました。HPやブログに関するアドバイスもあり、早速HPのトップページに情報を載せました。大学という大きなくりの中でのHPですからいろいろ制限もあるみたいで、これから検討していかなければなりません。

7月9日(木)

やっと総会実行委員長が決まりました。なかなか決まらずヤキモキしていたのですが何とか。ホッとしています。会長にも相談して理事会の開催日も決めることができ少しずつですが、前進です。とりあえず今日理事会案内のはがきとメールを送りました。

7月10日(金)

ピンチです。実行委員長から御断りのメール。理事会案内もしてしまったのに…。会長とも相談のうえ理事会は開きますが、総会のことについては考えなければ！！！！！！

7月14日(火)

今朝事務局へ来てびっくり！！冷蔵庫が新しくなりました。以前はかなり年季のある冷蔵庫があっけほどと電気代の無駄みたいな代物で、ほとんど冷えません。よかったあ新しくなって。

今日短大部専攻科の合格発表がありました。事務局前にも掲示されているので学生が時々がやがやと確認に来ていました。最後の入学生かな！

7月17日(金)

パラバラと理事会の出欠の電話・メールがあります。

編集長が都合により欠席とは困ったなあ。当日配布する「千瓢」に関するレジメももらわなくては。

7月21日(火)

例年もう梅雨明けで暑い日が続くころなのに今日も雨。うっとおしい天気です。いったい何時になったら梅雨明けするのですかね…。

7月22日(水)

皆既日食とテレビで言っていましたよね。富山では部分日食が見れるとか。晴れてきたので外を見ていたのですが、木漏れ日がそれらしく見えるとワイワイ話をしていたら外で先生が日食観察用めがねで見えていました。早速お願いして見せていただきました。すごい。下半分以上が欠けていて三日月みたく見えました。感激！！！！

7月24日(金)

理事会を開きました。今回は若い理事の方々も出席くださり総会に向けて現状報告などをさせていただきました。今年は、出遅れたこともあり特に実行委員長

を決めずに頑張っていくこととなりました。総会・懇親会会場は大学内ですが、大学祭期間中ですから事務局・活動している部の学生たちにもお願いしなくてはなりません。

7月29日(水)

「千瓢」第4号に向けて印刷業者・発送業者との打ち合わせをしました。まだまだ先のように思っていたのですが、何となく気が焦ります。私の方の原稿はほぼ集まっているのでちょっぴり安心です。でも最終的には編集長裁量ですから、これからの方が大変かも・・・。

8月3日(月)

久しぶりの晴天。ついに梅雨明けでしょうか？今日

は朝から「千瓢」の原稿手直しでバタバタしています。大学関係の記事は事務局の方に見てもらったのですが、細かいチェックが入っていました。また、原稿と一緒に頂いた写真の説明文も付け加えなければならぬので、先生方のお名前のチェックもしていただきました。

8月5日(水)

年会費振込用紙の印刷完了です。今日から会員名などを印字するのですが、毎年最初はドキドキします。スムーズに印刷ができるとほっとします。今年は順調なスタートをきることができました。よかったよかった。

富山県立大学検定クイズ

流行に乗ってかってみましたー！



あなたは富山県立大学のことをどれだけ知っていますか？是非クイズに挑戦してみてください。

Q1 富山県立技術短期大学（富山県立大谷技術短期大学）の初代学長の谷安正（たに・やすまさ）氏の研究分野は？

- A. 電子顕微鏡
- B. コンピューター
- C. 自動車工学

Q2 富山県立技術短期大学の3代目学長の田村三郎氏の専門分野は？

- A. 水資源学
- B. 電磁波工学
- C. 生理活性物質化学

Q3 富山県立大学学長の田中正人氏の専門研究分野は？

- A. トライボロジー
- B. 流体力学
- C. 環境工学

Q4 富山県立大学のサークルは体育系、文科系合わせていくつあるか？

- A. 20
- B. 25
- C. 32

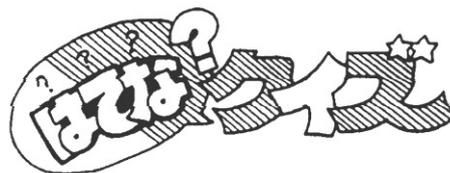
Q5 実践的な物づくりの教育・支援の拠点として、また、地元企業や県工業技術センターとの共同研究の場として大学にある施設の名前は？

- A. パステル工房
- B. クレヨン工房
- C. 水彩工房

Q6 富山県立大学の図書館の蔵書数は？

- A. 10万冊
- B. 13万冊
- C. 16万冊

答えは20ページを見てください。



2009年6月18日に片山勲先生（元工学部教授）が名誉教授の称号が授与されました。富山県立大学では何人目の名誉教授でしょうか？

答えは 人目
(ヒント、今号の11ページを見てください)

◆はがきで〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内「千瓢」編集部へ答えと住所・氏名を書いて応募してください。

正解者10名に図書カード（500円）を進呈！正解者多数の場合は抽選。締め切りは11月15日（当日消印有効）。はがきに「千瓢」の感想も一緒に書いてください。メールでの応募もOKです。メールアドレス senpyoukai@pu-toyama.ac.jp

「千瓢」3号クイズ当選者発表！！

<第3号クイズ>

平成21年4月に富山県立大学に新しい学科「環境工学科」が誕生します。環境工学科が増える21年4月には工学部にはいくつの学科がありますか？

答えは5学科です。

正解者は以下の方々です。おめでとうございます。早川俊一・坂田知詠子・鈴木康裕・江尻康浩（富山市）楠友栄（高岡市）水野晃美（南砺市）碓井未咲（神奈川県）

今回は工学部卒業生の方からの応募もありました。葉書だけではなく、メールでの応募も大歓迎です。

